

2025年度

野洲市教育研究所だより

No.18

2025.11.26

まなび野洲検定 1級合格者表彰式

10月29日(水)16:00から「第16回まなび野洲検定2025 1級合格者表彰式」を歴史民俗博物館(銅鐸博物館)で行いました。受検者数92名で、合格者は3級15名、2級12名。難関1級は13名でした。内、100点満点が4人(4年2人、5年2人)でした。満点はすごいことです!

当日、1級合格者一人一人に、北脇教育長から合格証書が、ドウタクくんから副賞が手渡されました。今年度の副賞は、歴史民俗博物館(銅鐸博物館)の弥生の森で使える銅鐸博物館体験学習無料チケットです。土器・埴輪・銅鐸・勾玉から選んで制作ができます。北脇教育長からは、ドウタクくんのこれまでの経緯やSOSホームページの掲示物にも使われていることなど親しみのあるキャラクターであることや子どもたちがこれからも野洲市の歴史や自然、文化等に進んで触れ、誇れる野洲市にしていってほしいという話をいただきました。



13名の合格者

1級合格者は、4年生が4名、5年生が6名、6年生が3名と、すべての学年から出了ました。残念ながら受検人数はこれまで一番少ない人数でしたが、1級合格者の人数は、昨年度の4名から13名と大幅に増えました。ゴールデンウィークに野洲図書館で野洲まなび検定の企画展を実施したり、今年度からデジタル問題集を作成したりしたことが、この成果につながったものと思われます。子どもたちが意欲的に興味関心をもってチャレンジしてくれたのがよく分かりました。野洲のことに興味を持ち学習に取り組んだ子どもたちが学年・地域を問わずにいたことは本当に嬉しい限りです。

保護者の皆様にも前向きな言葉をかけてもらい、子どもたちは「まなび野洲検定」に挑戦することができました。本当にありがとうございます。来年度も、自分たちが暮らしている野洲をもっと理解し、好きになる子どもが増えるよう、先生方の受検への声掛けをお願いします。

まなび野洲検定 1級記念品



銅鐸博物館「弥生の森体験学習」 無料体験1回分チケット

○実施日時……R7年11月1日(土)～R8年2月1日(日)までの土曜・日曜日、祝日
(9時～15時受付)※ただし、12/28～1/4は年末年始のため休館
○体験メニュー……下記の中から体験したい内容をお選びください。
①土器・はにわ作り(乾燥・焼成して後日お渡し)
②銅鐸作り(乾燥・焼成して後日お渡し)
③まが玉作り(当日持ち帰り)



表彰状授与



歴史民俗博物館(銅鐸博物館)

【体験券のご利用にあたって】

- 本券は、銅鐸博物館でのみご利用できます。
- 体験を希望される場合は、銅鐸博物館受け付けに本券をお渡しください。
- 現金への引き換えや体験メニューによる差額の返金はできません。
- 使用期限 令和7年11月1日(土)～令和8年2月1日(日)

【体験学習問い合わせ先】
野洲市歴史民俗博物館
TEL 587-4410

【まなび野洲検定問い合わせ先】
野洲市教育研究所 松井 敦志
〒520-2331 野洲市小篠原1780
TEL 587-6028 FAX 587-3835



まなび野洲チャレンジ！ 37

今回は、この問題です。正しい答えの番号はどれでしょう。

答えは最下段に載せています。

野洲市木部にある錦織寺は、平安時代に比叡山延暦寺の慈覚大師円仁が、この地にお堂を建て、毘沙門天を安置したのが創立です。

鎌倉時代になり、〇〇聖人が関東から京都へ帰られる途中に立ち寄られたところ、近在の人々からここに滞在し、仏法の教えを説いてほしいと強く願われました。〇〇聖人は、願いを聞き入れ、持ち歩いていた阿弥陀如来像を阿弥陀堂の本尊として安置され、しばし滞在して教えを説かれました。

錦織寺の名の由来は、〇〇聖人の滞在時の伝説として次のように伝えられています。「天女が蓮の糸で織った錦が仏前に備えられていたという不思議なことがあり、これを時の四条天皇に献上されたところ、天皇は感動され「天神護法錦織之寺」と書かれた額を下され、それ以来「錦織寺」と呼ばれるようになった。」

さて、〇〇聖人とは、誰のことでしょうか？



錦織寺阿弥陀堂

- ①栄西 ②法然 ③日蓮 ④親鸞

おすすめの一冊



『不登校の9割は親が解決できる

3週間で再登校に導く5つのルール』

小川 涼太郎 著 小野 昌彦 監修
出版社 PHP 研究所

たったの3週間で不登校の9割を解決！

TV や教育関係でいま大注目の著者による、初の著書！

本書では、不登校の子を平均3週間弱で再登校に導く独自プログラムを提供する著者が、その驚きの内容を惜しげもなく公開します。

親の行動を変えることで子どもを変え、不登校を解消できる魔法のようなメソッドが満載の1冊。

不登校に悩むすべての人を救う本。

(主な内容)

- 原因を追究しなくても、不登校は解決できる
- フリースクールを選択する前に知っておきたいこと
- 不登校とデジタル機器の相性は最悪
- 不登校の子に言ってはいけないNGワード
- 結果ではなく、プロセス・努力に注目
- 魔法の声かけ「どうしてそう思うの？」 etc.